

# 若い世代に対応した規格変更

## 尺貫法からメートル法へ改革！

静岡県静岡市 株式会社 **新海畳店** 様

昭和10年(1935年)創業の株式会社新海畳店様は「最新の機械を導入し、作業の合理化を図りつつ、技術の継承にも力を入れる」をモットーに、埼玉県畳高等職業訓練校出身で三代目となる代表取締役新海亘広様(52歳)をはじめ、会長となられた二代目敏幸様、従業員さん3名にて弊社ツインロボシステムと汎用機を長年ご愛顧頂いております。

新海畳店様は、早くから畳製造工程における最新型機械の自動化に興味を持たれ、良いものを早く作り上げる為にいち早く両頭式自動機械設備を取り入れて頂きました。導入の際には、単に最新型の製品を注文するだけではなく、『現時点では誰もやってはいないが、いずれ必要となる』と考えられたアイデアを元に、いくつかの改良を施した製品を納入させて頂いており、その多くはその後の当社製品の標準仕様とさせて頂いております。

その新海畳店様にこの春新しく、四代目を継がれる亘広社長様のご子息孝高様(京都畳技術専門学院出身/23歳)が入社されました。孝高様は高校卒業後、京都にて畳製作の修行を4年され、京都畳技術競技会では優秀な成績を取められての稼業への就職となりました。常に新しい事への取組に挑まれる新海畳店様は、孝高様が加入される事を機に伝統は継承しつつ、畳製作において新しい世代が取り組むべき課題として、長年継承されてきた尺貫法を用いた基準値からの相対値による寸法管理から、**国際基準**である“**メートル法**”を用いた**寸法管理**への全面的な移行を手掛ける決心をされました。



▲二代目/新海敏幸様 ▲三代目/新海亘広様 ▲四代目/新海孝高様



静岡市  
人口707,351人  
世帯数312,957  
(29年5月末データ)

静岡市  
駿河区

店主からの  
一言



## 国際基準の「メートル法」を採用しました

導入前は、地域ごとに異なる基準値からの相対値による採寸により数値の記載がないことから読み間違えてしまい、違った寸法で畳を作ってしまうことがありましたが、実寸表記で「採寸→入力→製作」となったことで、誰が見ても同じ数字になる為、サイズ確認や作り直しによる二度手間が減りました。  
メートル単位に慣れ親しんだ今後の業界を支える若い職人さんでも理解しやすくなることで、労働力の安定化を図ることができるようになると思います。

今回導入の際に、ものづくり補助金を活用し一貫した畳製造工程の確立を目標にしたことで“メートル法”を両頭式自動平刺機：ツインロボ23だけでなく、すでにお使い頂いている両頭式自動框裁断機：スパットFにも採用されるなど、二代目、三代目、四代目による新たな取り組みに挑まれておられます。



▲ツインロボ23で作業される様子



▲メートル法に改良したスパットFを4代目孝高様に指導する会長



▲株式会社新海畳店様 全員集合

## CHECK 既存機種紹介

全自動両框裁断機 スパットF	両頭式全自動表張框縫機 ツインロボ52	両頭式全自動返縫機 ツインロボ13	両用機・電子制御方式自動運転 スーパーリード6	エア一式・框縫機 ホープTA2DX	全自動染土落機 タタミクリーナー5	下前カット機能付自動畳表裁断機 オートカット5DX	畳乾燥機(消毒・消臭) サンNA	寸法割付ソフト 畳屋さんPro